

2020.1
新春
第44号

からたち



「御花乗船場」(福岡県柳川市) 撮影者/主任理学療法士 溝部 勝幸

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

患者さんに良質で
安心な医療を
提供します

医学・医療技術の
研鑽に努め、
最新の医療を提供します

地域福祉の向上と、
疾病予防策を
実践します

風通しの良い、
明るく働きがいのある
健全な職場を目指します

p.2 新年のご挨拶

p.3 |特集|「シリーズ 医学ア・ラ・カルト」うつるいぼについて

p.4 部署紹介(放射線科)

p.5 ST(言語聴覚士)について、リフレッシュ研修

p.6 第8回柳川病院健康まつり

p.7 翠の会 活動報告、着任退職医師紹介、お知らせ



一般財団法人 医療・介護・教育研究財団

柳川病院

令和2年 新年のご挨拶



理事長 馬場崎 紀文

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた穏やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃から当院の運営に際しまして、地域の皆様、地元医師会をはじめとする医療機関及び行政機関の皆様にご支援頂き感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、無事新たな1年を迎えられたことを重ねまして心より感謝申し上げます。

さて、昨年は平成から令和へ元号変更や、ラグビーワールドカップが開催され、悲願の決勝トーナメント進出を果たし感動の渦に浸らせてくれるなど、日本の素晴らしさを感じるニュースがあった一方、一昔前には考えられないような自然災害や首里城の火災など、危機管理の重要性を感じさ

せられた年にもなりました。

また、医療業界でも高齢化社会の進展など高度化・複雑化が急速に進んでおり、病院経営を取り巻く医療環境が厳しくなっていくなかで、ますます病院に課せられた使命は増幅しています。

このような情勢のなか、当院は柳川市で急性期医療を担う中核病院として、地域の医療機関、行政などとの連携を重視し、患者さんに良質で安心した医療提供体制を更に構築していくことが、当院の基本理念である「地域に親しまれ、信頼される病院」に繋がっていくものと考えております。

今年も於院長をはじめとする職員と共に、安心・安全な医療の提供に取り組んで参る所存でございますので、旧年にも増して、ご厚誼のほどよろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、本年が皆さまにとって良い年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



院長 於保 和彦

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとりまして安らかで素晴らしい一年になることをご祈念申し上げます。

2019年を振り返りますと、5月1日から新年号「令和」が始まりました。

様々な格式ある厳粛な即位の行事は、日本人に日本国の歴史の重さを再認識させたことと思います。また巨大台風、想定外の大雨や洪水など、地球温暖化の影響をまざまざと実感した1年でもありました。ラグビーのワールドカップ2019での日本代表 Brave Blossoms の活躍は、最高視聴率53.8%が物語るように、日本中、いや世界中を熱狂させ、新語・流行語大賞に「ONE TEAM」が選ばれました。2019年を思い出すとき、必ずや彼らの雄姿が眼に浮かぶことでしょう。

柳川病院では昨年の4月1日から脳神経外科の専門医が常勤となりました。60年を超える柳川病院の歴史上初めてのことです。脳梗塞や脳出血と言った脳疾患にも対応が出来るようになりました。

さて、2020年は何といっても7、8月に開催される

東京オリンピック、パラリンピックでしょう。どんなドラマが展開されるのか今からワクワクします。また私事で恐縮ですが、9月に福岡市で私が会長として第27回日本門脈圧亢進症学会総会を開催致します。全国、またアジアの先生方が参加されますので、大いに柳川市を、そして立花宗成を宣伝したいと考えております。私にとって昨年以上に忙しい一年になりそうです。

医療界に目を向けますと、2020年は診療報酬改定が行われます。少子高齢化の進行による「肩車社会」の到来に伴い、医療・介護費を中心に社会保障に関する給付と負担の間のアンバランスは一段と強まっています。医療機関、介護施設にとって厳しい改定になると予想されます。また働き方改革も待ったなしです。限られた人員で、質の高い医療を提供してゆくためにはどうしたらよいのかが問われています。さらに地域医療構想調整会議では、地域の医療機関の機能分化が進んでいますが、当院は今後も現在の病床機能を継続し、急性期医療に特化していきます。

最後になりますが、今年も柳川病院の職員一丸となって、地域の皆様の健康を支え、地域の活性化につながるよう、元気にがんばっていききたいと思ひます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

うつるいぼ(尋常性疣贅)について

皮膚科部長 辛島 正志 先生

一般に“いぼ”とよばれる皮膚病の正体は多種多様であり、専門的には多くの種類の皮膚病を含んでいます。皆さんは皮膚から盛り上がったものを“いぼ”と呼んでいますがこの中には良性のものから中には悪性のものも含まれていますので注意が必要です。ここでは“いぼ”のなかでも良性ですがひとつにうつる“いぼ”について説明します。

ひとつからひとつにうつる“いぼ”は正式には尋常性疣贅(じんじょうせい・ゆうぜい)といいます。尋常性とは“ふつうの・通常の”の意味で、疣贅とは“いぼ”の意味です。これはウイルスによっておこされる皮膚病です。

尋常性疣贅は子供から大人まであらゆる年齢のひとつに起こりえる皮膚病です。症状としては痛みもかゆみもない数ミリの小さな固いできものが出来て、数週間のうちに大きくなります。大きくなっても通常はせいぜい1cm以内の大きさです。手指や足指や足底にできることが多いのですが、顔や頭などの皮膚のどこにでも生じます。足底や足指に出来たものはたびたび“うおの目”と勘違いしている場合が少なくありません。“うおの目”と勘違いして自分で削ったりしているとウイルス感染が広がり、周囲の皮膚に拡大したり手指にうつることもありますので注意が必要です。

尋常性疣贅はヒトパピローマウイルス (HPV) の感染によって生じます。HPVには100を超える種類があり、このうち一部の型のウイルスが尋常性疣贅を生じます (HPV 1、2、4、27 および 29 型)。これらは通常、悪性化することはありません。これらの型以外による HPV 感染は他の種類の疣贅を生じます。HPV の型によっては悪性化をきたす可能性があるので注意が必要です。たとえば陰部などに生じる HPV 感染 (尖圭コンジローマ) の中には癌化しやすい高リスク型 HPV (16、18 型) の感染によるものがあり、早期の発見・治療が望めます。

尋常性疣贅の診断は専門医ならば外観に基づき容易ですが、専門医以外の診察では“うおの目”や“胼胝 (べんち: たこのこと)”などと間違えられていることがありますので必ず専門医への受診が必要です。しかし時に診断が困難な場合もあり、その際は皮膚の一部を採取して検査をする『生検』と呼ばれる検査を行うことがあります。

ほとんどの尋常性疣贅は無治療で自然治癒します (数ヶ月～数年)。しかし、放置しているうちに病変が増数したり他人へうつしたりするので、治るまで長い間放置するのは良くありません。また、HPV 感染をおこしやすい場合には患者の免疫状態が関連するとされています。いわばウイルスに対する抵抗力が衰えた状態に感染し易いのです。たくさんの尋常性疣贅が出来た場合には、何らかの別の病気が潜んでいることがあるので早めの医療機関への受診が必要です。

尋常性疣贅の治療として、もっとも多く用いられているのは液体窒素を用いた冷凍凝固術です。この治療法は極めて有効な治療法ですが、痛みが強いことが欠点です。通常は数回の施術で治癒しますが、施術のやり方や熟練さによりばらつきがあるものの欠点です。また別な治療として局所麻酔をして切除したり、電気焼灼やレーザー焼灼する治療も有効ですが、再発したり周囲に広がったりすることがありますのが欠点です。

上記の方法以外に、体の免疫反応を刺激して治療する方法があります。上に述べたように HPV 感染には患者の免疫状態が関連しているので、免疫反応を刺激すれば HPV 感染が治ります。古くは“いぼとり地蔵”に参ると治ることが知られています。いわゆる暗示療法のひとつですが不思議と実際に効果があることがまれですがあります。

これとは別に、免疫反応を刺激する物質を用いる方法があります。このなかにはかぶれをおこす特殊な化学物質 (感作物質: SADBE または DPCP) をいぼに塗って治す治療法があります (局所免疫療法)。この治療は痛みがなく、数回の外用 (中には1回塗れば治る場合もあります) で尋常性疣贅が治癒します。ただし、この治療法が有効なのは比較的年齢の若い患者です。20 歳以下のひとに良く効きます。それ以上の年齢のひとつには効かないことがあります。

局所免疫療法の実例を示します。写真1は尋常性疣贅の治療前の状態です。患部にガーゼにしみ込ませた感作物質を貼付し、テープで被覆します (写真2)。2日間貼付のままにし、その後、ガーゼを除去して貼付後2週間目位から感作物質を塗ります。塗るのは2週間に1回だけで充分です。多くの場合、数回塗ればいぼは自然に脱落 (ぼろっととれた、と患者はいいます) し、治癒します (写真3)。写真4は別の患者の尋常性疣贅です。写真5は感作物質を4回塗った後の治癒した状態です。

この治療は痛みがなく、ちいさな幼児や小児に出来た尋常性疣贅の治療に有用な治療法です。しかし、強力な感作物質を人体に用いるので注意が必要です。副作用として患部のかゆみや、まれに蕁麻疹が出ることがあります。この治療法はある意味熟練を要します。一般の病院では扱っていない場合も多く、熟練した皮膚科専門医への受診が必要です。当科では特にちいさな幼児や小児の尋常性疣贅の治療にこの局所免疫療法をおこなっています。



(写真1) 尋常性疣贅 治療前



(写真2) 局所免疫療法の実際: 感作物質を貼付



(写真3) 局所免疫療法後。感作物質を3回外用後。尋常性疣贅は治癒。



(写真4) 尋常性疣贅 治療前



(写真5) 尋常性疣贅 治療後

部署紹介

今回は

放射線科

を紹介します



放射線科では医師の依頼のもと、CT、MRI、マンモグラフィなど様々な医療機器を用いて画像検査を行い診療画像情報を提供しています。

『放射線』と聞くとちょっと怖いイメージですが、適切な管理を行い不必要な放射線被ばくを防止し、安全に検査・治療を行えるようにしております。

柳川病院 放射線科機器紹介

- 一般 X 線撮影装置（富士フィルムメディカル）
- 64 列 マルチスライス CT 装置（Philips）
- X 線 TV 装置（キャノンメディカルシステムズ）
- 1.5T MRI 装置（Philips）
- マンモグラフィ装置（富士フィルムメディカル）
- ポータブル X 線撮影装置（島津メディカルシステムズ）
- 血管造影装置（Philips）
- X 線骨密度測定装置（日立アロカメディカル）

スタッフ紹介

診療放射線技師 7 名（男性 5 名 女性 2 名）
放射線科助手 1 名



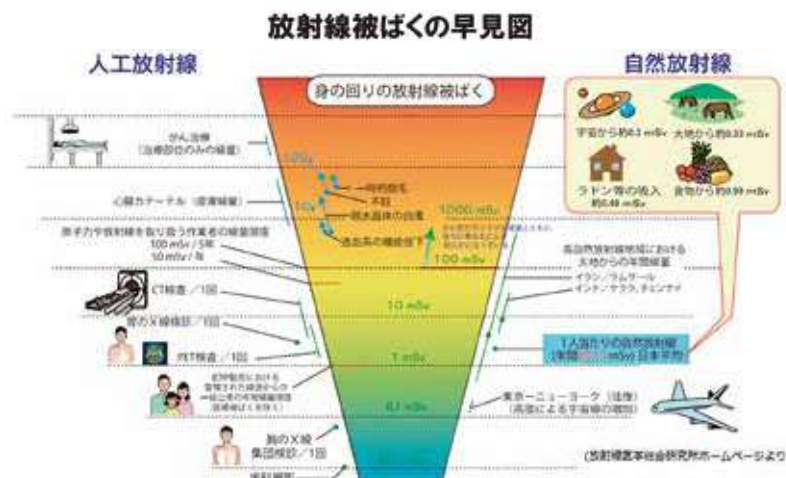
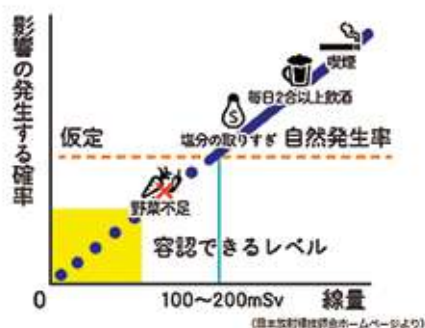
放射線の影響

検査に用いる放射線の量は検査の種類・内容によって異なりますが、通常一回の検査で人体に悪影響が生じるようなことはありません。

例：胸部 X 線写真 0.05 mSv
胸部 CT 検査 5 ～ 20 mSv

一般的に 100mSv 以下のような少ない被ばくの場合、臨床的な影響は現れないといわれています。

また、100 ～ 200mSv 程度の被ばくが体に与える影響を他のリスクと比べると塩分の取りすぎや飲酒・喫煙のほうが体に悪影響を与えることがわかっています。



私たち柳川病院診療放射線技師は、今後とも日々進歩し続ける医療技術に対応するためスタッフ一人ひとり自己研鑽に努め、安心して検査を受けて頂けますよう日々努めてまいります。

ST (言語聴覚士) について



言語聴覚士とは

「Speech-Language-Hearing-Therapist」略して ST と呼ばれます。

小児分野から成人・老人と幅広い年齢の方々に対して、病気や生まれつきの障害などによって「上手く話せない」「声が出にくい」言語機能。「聞き取りづらい」「声が歪んで聞こえる」聴覚機能。「失語症・失行・失認」高次脳機能。「水分や食事でもせる」「食後に熱が出る」「食事が食べれない」摂食・嚥下機能。「吃って上手く話せない」「会話の流れに乗れない」コミュニケーション機能等に何らかの問題をかかえる方を対象に訓練を行ないます。

問題点を明らかにし対処法を見いだすために、必要な検査・評価を実施し、必要に応じて訓練・指導・助言・その他の援助を行なっています。

また、摂食・嚥下障害の方には、食事形態・栄養方法の選択・検討、食事姿勢の調整や摂食・嚥下訓練、肺炎予防の機能的口腔ケアなど多岐にわたるアプローチを行なっています。



リフレッシュ研修

令和 1 年 10 月 25 日 (金)

柳川病院では、新人研修の一環として、今年のリフレッシュ研修は、武雄神社参拝と「御船山薬園」プロジェクションマッピング散策を行いました。教育委員、新人指導担当看護師が同行し、新人看護師の心身のリフレッシュと、親睦を図りました。



柳川病院に勤務して半年が経つ頃に、リフレッシュ研修へ行きました。佐賀の武雄市図書館、武雄神社、御船山のチームラボ。どこも行ったことのない場所でとても楽しめました。日頃、病棟師長やプリセプターと話す機会はあるけれども、他病棟の先輩方と話したことはなかったため、行く前はとても緊張していました。しかし、どの方も気さくに話しかけてくださり、いつの間にか緊張が解けていました。看護師で唯一の同期の神園さんとは、病棟が違いなかなか病院内では会えませんが、リフレッシュ研修中にもお互いの仕事やプライベートの話をすることができました。文字通りリフレッシュできた1日でした！

A病棟 下部 楓

リフレッシュ研修で、佐賀の御船山のチームラボを見に行ってきました。広大な庭園と森の中で、光が織りなす幻想的な世界を見ることができ、日頃、不安や緊張感の中で行う、看護業務とは違った世界で、1日楽しみ、癒やされました。また、プリセプターや教育委員の方々と交流できる場でもあり、信頼関係の構築にもつながる研修となりました。これからも看護師として成長できるように、日々の経験や学びを大切に、頑張っていきたいと思います。

C棟 神園 舞

第8回

柳川病院健康まつり

実行委員長 近藤 亮介

2019年11月2日(土)に第8回柳川病院健康まつりを開催いたしました。
当日は天候にも恵まれて、300名を超える地域の皆様にお越し頂きました。
大和中学校吹奏楽部の演奏でオープニングを爽やかな演奏で飾ってもらい、ご来場の皆様に楽しんで頂きました。

健康教室では、「循環器疾患について」という演題で、循環器内科の吉岡励先生に講演いただきました。皆様熱心に講演をお聞きになられており、質疑応答の時間は質問が途切れることがないほどでした。

今年はアマチュア落語家の粗忽家勘心^{そこつやかんしん}さんをお呼びし、健康落語の公演を行い、会場内が笑いに包まれていました。

血管年齢測定や骨密度測定、お菓子のつかみ取りなどのイベントにも、子どもから大人までたくさんの方に楽しんでいただきました。

フィナーレは柳川高校ダンス部のパフォーマンスで締めくくりました。

健康まつりを開催するにあたり、多くの皆様のご協力を頂きまして感謝と共にお礼申し上げます。今後も柳川病院は地域に親しまれ信頼される病院を目指して頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。



翠の会 活動報告

～ウォーキングと食事会～

翠の会では…

10月3日にウォーキングと食事会を行いました。
台風の影響で中止になりそうでしたが…
台風も逸れ、無事に開催することができました。
柳川病院を出発し、食事会のお店までの
片道 1.6km 合計で往復 3.0kmの道のりを
スタッフも含め 12 名で楽しく和気あいあいと
とてもいい運動となりました。

散策コースや食事内容・レクレーションを
スタッフで話し合い、毎年、内容を変更して
開催しています。

その他に年に 5 回程度イベントを開催しています。
ご興味のある方は、現在「翠の会」会員募集中です。
糖尿病の方、その家族の方に限らず、どなたでも参加できますので、
詳しくはスタッフまでお気軽にお声がけください。

翠の会とは…

糖尿病患者さんと看護師・薬剤師・
理学療法士・管理栄養士などの医療
スタッフで作られた患者会です。

～ウォーキングと食事会の風景～



着任医師紹介



脳神経外科
しょうじま ひろたか
正島 弘隆

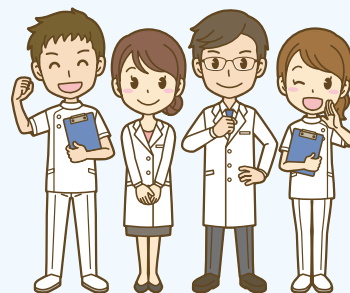
出身地：佐賀県佐賀市
趣味：サッカー、読書、将棋
資格：日本脳神経外科専門医

これから寒くなります。脳卒中が疑われる可能性
がある際は、お気軽にご相談ください。その他、
頭痛・めまい・物忘れ・手足のしびれなど、適宜
対応させていただきます。

肝臓外来 さの ゆうや 佐野 有哉 非常勤（第2土曜）

退職医師紹介

肝臓外来 みやじま いちろう 宮島 一郎 非常勤



お知らせ



柳川病院：2F売店で、
「野菜の販売」が
12月より
始まりました！

*
採れたての
新鮮な野菜
です!!
*



外来診療担当医一覧表

2019 年 10 月 1 日現在

受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30 ~ 11:00
午後 13:00 ~ 16:00 [血液内科(木)]
13:30 ~ 16:00 [脳神経外科(金)]
13:30 ~ 15:30 [産婦人科(火・水・木)]

※急患については、この限りではありません。

※ 都合により診察日・時間に変更になる場合がございます。確認のうえ来院ください。
※ お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からのお電話にご協力お願い致します。
※ 「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表			月	火	水	木	金	土
内科 消化器内科	午前	新患	於保 和彦	吉尾 智一	大野 美紀	菅 偉哉	森山 悦子	担当医
		再来	菅 偉哉	菅 偉哉	於保 和彦	吉尾 智一	於保 和彦	吉尾 智一
			森山 悦子	大野 美紀	森山 悦子		大野 美紀	
血液内科	午後					大屋 周期		
肝臓外来 (第2土曜日)	午前	(下記※1参照)						佐野 有哉
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保 和彦					
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来			後藤 由佳		永山 綾子	廣松 雄治
	午後	再来(予約)			後藤 由佳		永山 綾子	
循環器内科	午前	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
		再来		松本 徳昭	野原 夢	吉岡 励	吉賀 巧	(急患のみ)
心臓血管外科	午前			土井 一義		土井 一義		
外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原 淳	岐部 史郎	貝原 淳	永野 剛志	貝原 淳	担当医
		再来	永野 剛志		執行 ひろな		岐部 史郎	
整形外科	午前	新患・再来	野崎 修	吉里 広	吉里 広	野崎 修	野崎 修 (第1.3.5)	野崎 修 (第2.4)
		新患	吉里 広	野崎 修			吉里 広 (第2.4)	吉里 広 (第1.3.5)
産婦人科	午前	新患・再来	嘉村 敏治	嘉村 敏治		嘉村 敏治	嘉村 敏治	担当医(第2)
	午後	新患・再来		嘉村 敏治	寺田 貴武	嘉村 敏治		
皮膚科	午前		辛島 正志	辛島 正志	休 診	辛島 正志	辛島 正志	辛島 正志
泌尿器科	午前			黒瀬 浩文		上村 慶一郎		西原 聖顕 (第1.3.5) 熊谷 壽二 (第2.4)
脳神経外科	午前	新患・再来	正島 弘隆	正島 弘隆	正島 弘隆	休 診	正島 弘隆	正島 弘隆 (第2.3.4.5)
	午後	新患・再来					緒方 敦之	
健診センター	午前		喜多 奈穂	喜多 奈穂	岩本 元一	喜多 奈穂	喜多 奈穂	
検査担当医表			月	火	水	木	金	土
放射線科	午後				小金丸 雅道			
専門エコー外来	午後						黒松 亮子	
内視鏡検査	(下記※2参照)		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
			向笠 道太	池原 龍一郎	城野 智毅	渡辺 靖友		

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。

※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171

地域医療連携室 TEL 0944-74-8145 / FAX 0944-74-8165

柳川病院 患者会

柳川病院では、病院スタッフ(医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士) & 柳川病院に通われている患者さんで「翠の会」という患者会を立ち上げています。

～翠(みどり)の会の募集案内～

【会 員】 60～80代の10名程度の方が在籍中
【活動内容】 勉強会や料理教室、情報交換会、ウォーキング大会等。患者さんが日頃困っていることや悩み事の相談窓口ともなっています。また、会員の方は、月刊「糖尿病ライフさかえ」を毎月無料で読むことができます。
【年会費】 3,600円(年度の途中入会の方…月払いとなります)

糖尿病の患者さん、糖尿病に関心のある人、どなたでも入会することができます。

【参加希望の方】
柳川病院 翠の会事務局
TEL 0944-72-6171

皆さまのご入会お待ちしております! (森)まで